広告　企画・制作=日本経済新聞社クロスメディア営業局

医療フロントライン 15

Frontline Medical Care

格差縮小ですべての人に健康な社会を

大阪医科大学の社会・行動科学教室の本庄かおり教授は、社会のありようと健康の関連について検証する社会疫学・行動科学分野を牽引する研究者の一人である。健康で幸せな社会を実現するための科学的根拠（エビデンス）を追求している。

※イラストはイメージです。

人のつながりが健康に与える影響の男女の違い

健康は人のつながりに大きく影響を受けることがわかっている。例えば、友人がたくさんいる人ほど長生きするという報告が多くある。また、困ったときや悲しいとき、そばにいて助けになってくれる人がいるかどうかが健康に大きく影響することも示されている。「このような人のつながりと健康の関係は男女で大きく異なります。例えば、配偶者と死別した男性はその後半年の死亡リスクが上昇するのに対し、女性ではほとんど上昇しないことや、高齢の女性は配偶者と死別した人の方が配偶者と生活している人より死亡リスクが低いことが報告されています」と本庄は指摘する。

本庄は、高齢者が誰と同居しているかによってうつになるリスクが異なり、その結果は男女で異なることを疫学的検証に基づいて明示した。

これまでの研究から、高齢者の独り暮らしはうつになるリスクを高める要因であることが示されている。しかし、より詳細な居住形態とうつのリスクとの関連を男女別に検討したところ、「男性では独り暮らしの方のリスクが極めて高く、配偶者との二人暮らしが最もリスクが低いという結果でした。これに対して、女性は独り暮らしでも配偶者との二人暮らしでも、その差はほとんど見られません」。つまり同じ生活環境でも、健康に対する影響は男女で大きく異なるのだ。

「このような性差は、男性が配偶者に大きく依存しているのに対し、女性は家庭外における人とのつながりを作るのも、そのつながりを利用するのにもすぐれていることによる影響ではないかと考えられます。つまり、社会における期待や規範が性別によって異なっていること、例えば、家庭内での男女の役割や意識が異なることなどが大きく関係していると考えられます」。本庄の研究の着眼点は独創的で、説明は極めて明快だ。

格差の悪循環を断つすべての人に健康を促す社会とは

近年、経済格差や社会格差といったことが話題となり、その健康影響も注目を集めている。本庄は、これまでに日本における社会的格差に着目し、収入、職業、雇用形態、教育歴といった社会経済的要因と、様々な健康指標の間には見過ごせない健康格差が存在することを数々の疫学研究により示してきた。健康格差は次の社会格差を生む。その悪循環を断ち切るためにも、健康格差の縮小は極めて重要だ。

「教育格差や経済格差はすぐに解消できる問題ではありません。だからこそ、存在する社会格差がどのように健康に反映されているのか、そのメカニズムを明らかにし、どのような要因にアプローチすることが健康格差を縮小することに効果的なのかを示すことが大切なのです」

本庄が目指すのは健康的な社会そのものを構築することだ。すべての人が可能な限り健康で、社会格差や経済格差から受ける影響ができるだけ小さい社会を構築するためのエビデンスを提示していくことが重要だと考えている。

住んでいるだけで健康で幸せになれる街とは、どのような特徴があるのだろうか。自然に歩きたくなるような街、人々のつながりが生まれやすい街の特徴を知ることができれば、人々の健康をそっと後押しする、そんな街をつくることができるのではないか。本庄が生み出したいのは、こうした健康社会構築へのアイデアだ。

Special Interview

本庄 かおり 教授
大阪医科大学［社会・行動科学教室］

ほんじょう・かおり　1986年関西学院大学経済学部卒、米ボストン大学、ハーバード大学修士課程などを経て、2006年大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学公衆衛生学教室。10年から同大学グローバルコラボレーションセンター、大学院医学系研究科特任准教授を経て、17年より現職。

学校法人 大阪医科薬科大学
Educational Foundation of Osaka Medical and Pharmaceutical University
www.omp.ac.jp
法人広報室 ／TEL: 072-684-6817
過去の連載記事は上記サイトに掲載
大阪医科大学（医学部・看護学部）〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号／TEL: 072-683-1221（代表）
大阪薬科大学（薬学部）〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4丁目20番1号／TEL: 072-690-1000（代表）
高槻中学校・高等学校 〒569-8505 大阪府高槻市沢良木町2番5号／TEL: 072-671-0001（代表）